

氷見市上泉地区における林業普及指導の一事例 ～里山林伐採跡地の森林再生に向けて～

1 テーマの趣旨・目的

当センター管内は、富山県の北西部に位置し、高岡市、氷見市、小矢部市、射水市の4市から構成されている。管内の特色は、標高の低い地域であり、かつ傾斜が緩く、人工林資源が豊富であることから、持続可能な資源の循環利用を目的とした主伐の推進を図るため、4年前から「主伐の団地化による計画的な素材生産」を当センターの重点課題として設定し取り組んでいるところである。

この活動の中で、ある課題を抱えている地区の情報を得た。氷見市上泉地区では、スギの主伐を計画しているが、その跡地をどうするか悩んでいるとのことであった。

そこで、先に述べた主伐計画団地から外れた、小規模で長期的な林業経営に適さない条件不利地であるこの上泉地区において、林業普及指導員が主導となり、健全な森林育成のため、地区の課題解決に向け地域住民や関係者へ活動を行った。

2 現状及びこれまでの取組の成果・課題

(1) 現状および取組内容

①情報収集

- ・所有者情報、制限林等の調査
- ・現地調査
- ・地区関係者からの聞き取り（写真1）

情報収集の結果、当地区は市街地・主要道路沿いにあるアクセスが良い場所であること、林内の傾斜が非常に緩やかであること、再造林への造林補助事業が難しいこと、伐採跡地の他には荒廃竹林が多く残されている（写真2）ことなどから

- a) ボランティア活動による森づくり →主に植林
- b) 水とみどりの森づくり税事業 →荒廃竹林の整備
この方向性を軸として合意形成を進めることとした。



写真1 地区関係者からの聞き取り



写真2 鬱蒼とした荒廃竹林

②合意形成

当地区は3つの字（上泉・宮田・下田子）に分かれており（図1）、このことで合意形成が難しくなったが、まずは所有者の取りまとめを世話している代表者がいる上泉において、関係者を集めた打合せ会を開催（写真3）した。



図1 3つの字に分かれる

打合せ会では先に述べた方向性を説明し理解を求めたところ賛同を得ることが出来た。



写真3 上泉地区 打合せ会

その後、上泉以外（宮田・下田子）の森林所有者に対し普及活動を行った。このエリアの森林所有者は、不在村および点在している方が多く、一堂に会することが困難であったことから、1件ずつ個別に自宅訪問し説明に回った。地道な努力の結果、ほぼ全員の所有者の賛同を得ることが出来た。

③事業計画等の資料作成および普及活動

R5.11月上旬、主伐が終了（写真4）したことからドローン空撮を実施、エリア全体の状況を把握し事業計画等資料を作成、普及活動を行った。



写真4 伐採跡地の状況

(2) 成果

①ボランティア活動による森づくり

企業による森づくりボランティア活動について地元や近隣の企業に働きかけを行った（写真5）ところ、現

在、数社において活動を検討していただいているところであり、うち1企業が、当地区でのボランティア活動を実施するため、R6.2月にとやまの森づくりサポートセンター※へボランティア企業として登録された。

※とやまの森づくりサポートセンターとは、森づくりボランティア活動を支援するため県が設立した機関



写真5 企業への普及活動

②里山再生整備事業（水とみどりの森づくり税事業）

事業主体となる市と調整し、里山再生整備事業（竹林種転換など）の実施に向け事業計画を作成し事業要望した結果、令和6年度から事業を実施することとなった。

(3) 課題

①ボランティア活動による森づくり

活動エリアの一部が農業振興地域整備計画に含まれていることから、農振除外手続きが必要である。

②里山再生整備事業

竹林種転換（竹林の伐採）は、部分的に伐採した場合、残された竹林が隣接地に広がり、数年後もとに戻る恐れがあるため、面的に整備する必要がある。

3 今後取組むべき内容

①企業への活動支援

林業普及指導員が、森林所有者、企業、市など、関係者間の調整を図る。また、農業委員会への農振除外手続きについてもサポートし、植林活動の実施に向け支援する。

②市との連携および支援

里山再生整備事業の実施にあたり、他業務と兼務して

いる市職員に対し、林業普及指導員が技術的支援を行う。特に里山管理利用計画の策定から森林所有者との協定締結まで、森林整備までの準備が効率的に進むよう支援する。

③学校への普及活動

上泉での打合せ会等で、地元小学校と一緒に森づくり活動を実施する意見があり、学校関係にも働きかけを行う予定としていたが、能登半島地震の影響（写真6）から当然見送ることとなった。復興状況を注視しつつ普及活動を再開したい。



写真6 被災した地元小学校

④「里山」を活用した新たな取り組み

情報収集のため関係者と話し合いを重ねる中、様々な発想やアイデアがあった。今後も新たな取り組みを模索し企画検討する。

今回の取り組みの中で、様々な関係者とのネットワークが広がりをみせている。林業普及指導員として、今後もコーディネーター的役割を果たしつつ技術的支援を行い、地域の課題解決にむけ普及活動に取り組みたい。